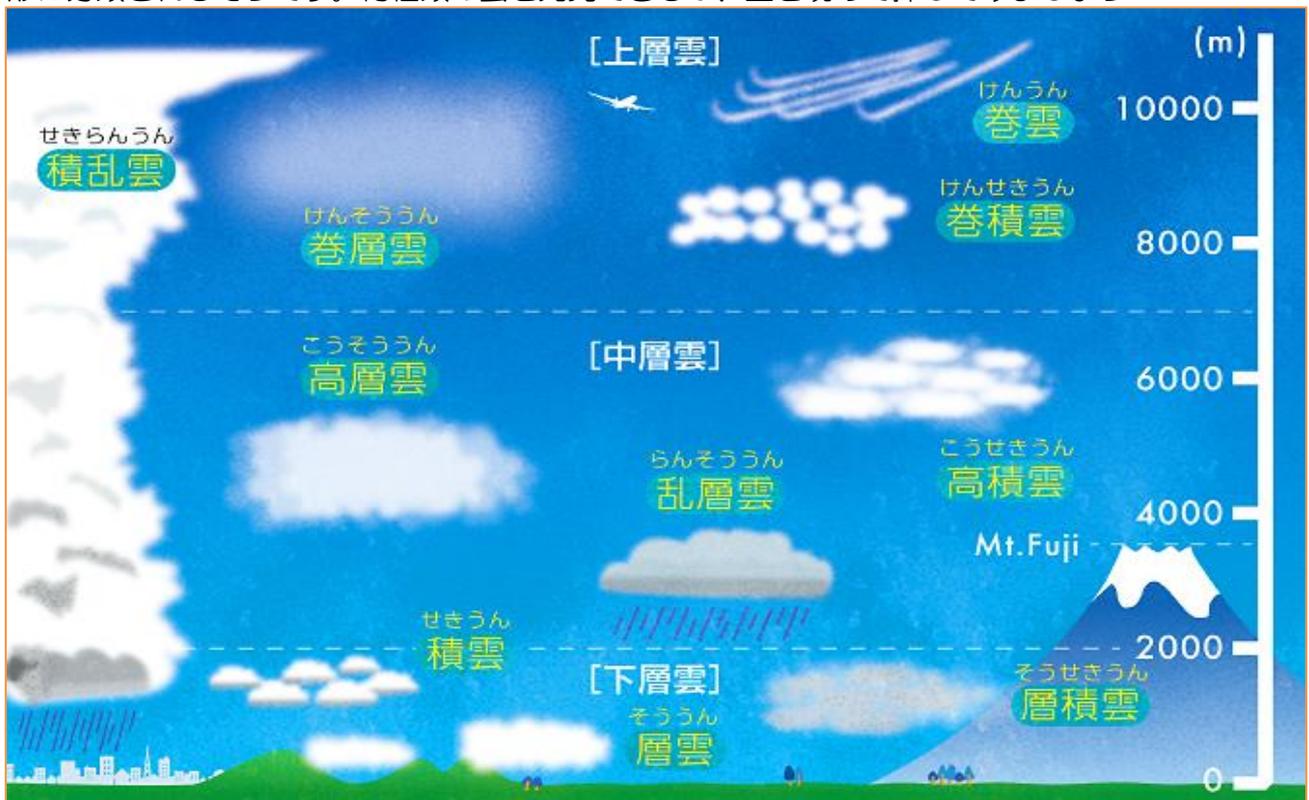


暑中お見舞い申し上げます

梅雨明けとともに本格的な夏を迎えましたが、子ども達は暑さに負けず元気に過ごしていることと思います。幼稚園では、今年は2mほどの大きさに生長したヒマワリの花が咲きはじめ、園庭の木々からはセミの大合唱が聞こえてきます。子ども達にも元気に豊かな夏を迎えてほしいものです。まだまだ暑さが続くようですが、元気で乗り越えられますよう心よりお祈り申し上げます。8月末の学年ごとの筑女まつりで、元気な子ども達に会えることを楽しみにしています。

《夏の自由研究》親子で雲を観察してみましょう！雲の名前が分かると格別です！世界気象機関が発行する「国際雲図帳」では、雲の種類は雲の形や高さによって、10種類の基本形に分類されるそうです。何種類の雲を発見できるか、空を眺めて探してみましょう



- 上層雲 ①巻雲 (すじ雲) 刷毛ではいたような白色の薄雲。最も高いところに発生する雲。
 ②巻積雲 (うろこ雲) 薄い小粒の白い雲が集まり、別名「うろこ雲」と言われる。
 ③巻層雲 (うす雲) 白いペールのような薄い雲。広範囲を覆い、太陽の光を通す。
- 中層雲 ④高積雲 (ひつじ雲) 小さな丸みのある塊が集まり、斑状や帯状の形をした雲。②巻積雲と似ているが、④の方が低い位置にでき、雲が厚くて大きいそうです。
 ⑤高層雲 (おぼろ雲) 灰色のペールのような広範囲に及ぶ雲。特徴が③と似ていますが、雲が厚いため、太陽の光をあまり通さない。
 ⑥乱層雲 (雨雲) 太陽や月を覆うほど厚く、空一面に広がる暗褐色の雲。
- 下層雲 ⑦層積雲 (くもり雲) 大きな丸みのある塊が集まり、畑のうねのようにロール状や斑状の形をした白色や灰色の雲。
 ⑧層雲 (きり雲) 霧のような白や灰色の雲。最も低いところに発生する雲。
- 対流雲 ⑨積雲 (わた雲) わたのように盛り上がった白や灰色雲。夏の晴天時によく見られる。
 ⑩積乱雲 (入道雲) 上昇気流によって積雲が大きく成長してできる雲。